

「まちなか・おでかけバス事業」の試行状況及び本格実施に向けた基本的考え方について

平成 24 年 2 月 15 日
 建 設 部

「まちなか・おでかけバス事業」については、平成 22 年 6 月から試行実施中であり、現在、第 4 期の発売を行っているところである。

平成 24 年度予算編成にあたり、これまでの試行実施の状況を報告するとともに、本年 6 月以降の本格実施に向けた基本的な考え方を次のようにしようとするものである。

1 試行実施の概要について

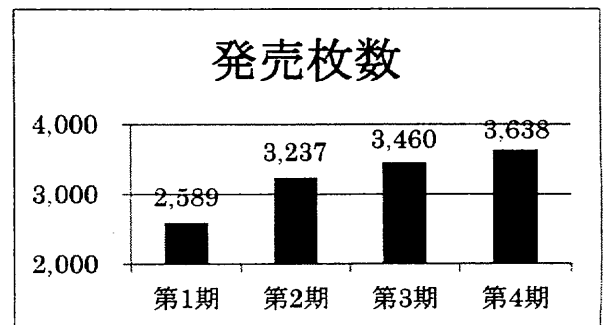
「まちなか・おでかけバス事業」の試行実施の概要は次のとおりである。

	まちなか・おでかけバス（路線バス）	玉山区列車でおでかけきっぷ（IGR）
目的	中心市街地の活性化、高齢者の生活支援及び公共交通の利用促進	バスの利便性が低い玉山区に居住する方への支援及び IGR の利用促進
対象者	市内に居住する 70 歳以上の方（玉山区含む）	玉山区内に居住する 70 歳以上の方
実施期間	平成 22 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日までの 2 年間	
発売価格	バス：5,250 円（最長 6 ヶ月有効） ※発売時期は年 2 回	購入証：500 円（最長 1 年間有効）
利用範囲 利用方法	ア 自宅近くのバス停から中心市街地エリアへの行き帰り（途中乗降可） イ 中心市街地エリア内での移動 ウ 自宅近くのバス停又は中心市街地エリアから市立病院への行き帰り	購入証を提示すると、次のとおり約 30% の割引切符を購入することができる。 渋民駅～盛岡駅 500 円→350 円 好摩駅～盛岡駅 630 円→450 円
市からの補助	1 枚当たり 5,000 円をバス事業者に補助。年間 1 万枚（5,000 万円）を上限とし、超過分はバス事業者の負担とする。	正規運賃と割引運賃の差額を IGR に補助。 なお、本事業により新たに増加する利用者分は、IGR に負担してもらう考え方により、400 万円を上限としている。

2 試行状況について

(1) 利用状況

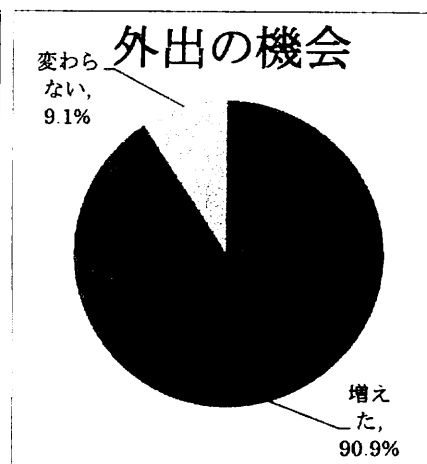
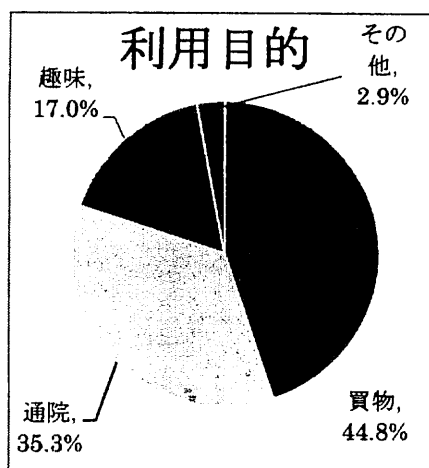
- ・ まちなか・おでかけバスの発売実績については、期毎に増加し、第 4 期（1 月末現在）においては、第 1 期に比較して、1,049 枚（40.5% 増）多い 3,638 枚となっている。
- ・ 地域別には、松園地区、青山地区、緑が丘地区などが多く、対象年齢人口に対する割合では、上米内地区、つなぎ地区、北厨川地区で高くなっている。



- ・ 利用率をみると、対象年齢のバス利用者の約45%が利用していると推計され、年齢が低いほど多く利用されている。
- ・ 利用回数は、一月あたり平均14回で、従前のバス料金に換算すると約95%以上の方が1,000円以上利用している。
- ・ 玉山区列車でおでかけきっぷについては、発売枚数は平成22年6月から平成23年12月までの累計が13,362枚、月平均では1年目が679枚、2年目は731枚となっている。

(2) 利用者の意見

- ・ 利用目的は、買い物、通院が多く、約91%の方が外出機会が増えたとしている。また、99%が便利になったと回答している。
- ・ バス利用以前の交通手段は、60%が従来からのバス利用者であるが、約20%は、バス以外。そのうち約40%が自動車であり、自動車からの転換にも一定の効果があったと考える。



- ・ 玉山区列車でおでかけきっぷについては、75%の人が外出の機会が増えたと回答している。また約90%の方が、「便利になった」と回答している。

3 本格実施に向けた基本的な考え方について

本事業については「中心市街地の活性化」、「公共交通の利用促進」、「高齢者の生活支援」の視点で、次の理由から試行実施と同じ制度内容で平成24年6月から本格実施する。

なお、本格実施後においても、利用状況を踏まえながらアンケート調査等を実施し、適宜見直し検討を行うこととする。

- ・ 利用者からは、価格が上がっても利用範囲や利用期間の変更を望む声もあるが、63.8%の方が現状の内容を希望すると答えており、バスカードの最高額5,000円に近い価格帯での制度としたいこと。また、利用者からの問い合わせ等も減少しており、制度が定着しつつあること。
- ・ 中心市街地の商店街からは、「高齢者の来街人数は、東日本大震災の影響もあり、目に見えて変わったという状況にはないが、本事業自体は中心市街地商店街の活性化に効果があると考えられることから、従来の中心市街地活性化の視点で本格実施に移行してほしい。」との意見があり、震災以降、より重要となっている中心市街地活性化を視野に入れる必要があること。
- ・ バス事業者やIGRからも、試行と同じ制度内容での本格実施を望む声があるほか、バス事業者においては、車内案内で利用範囲の音声案内を行うなどの周知にも努めていること。

まちなか・おでかけパス事業の
試行実施状況について

平成24年2月
盛岡市建設部

目 次

第1 試行実施の状況について

1 利用状況について	1
(1) まちなか・おでかけパス	1
① 発売実績	1
② 地域別の発売状況	1
③ 年齢別の購入枚数	2
(2) 玉山区列車でおでかけきっぷ	2
① 発売実績	2
2 利用者の意見について	2
(1) まちなか・おでかけパス	2
① 利用者アンケート調査の結果	2
② 個別意見等	5
(2) 玉山区列車でおでかけきっぷ	5
① 利用者アンケート調査の結果	5
② 個別意見等	6
3 中心市街地の商店街の状況について	6
(1) 商店街の意見	6
(2) 本事業との関連した取組	6
4 バス事業者、IGRのPR等の状況及び本格実施に対する意見について	7
(1) バス事業者	7
① PR等	7
② 本格実施に対する意見	7
(2) IGRいわて銀河鉄道	7
① PR等	7
② 本格実施に対する意見	7
5 広報等の取り組み内容について	7

「まちなか・おでかけパス事業」については、平成22年6月から試行実施しているが、本資料は平成24年6月以降の本格実施に向けて、これまでの試行実施の状況を取りまとめたものである。

第1 試行実施の状況について

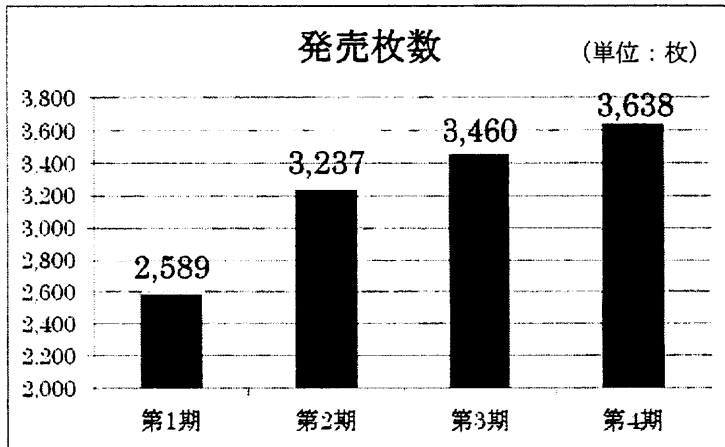
1 利用状況について

(1) まちなか・おでかけパス

① 発売実績

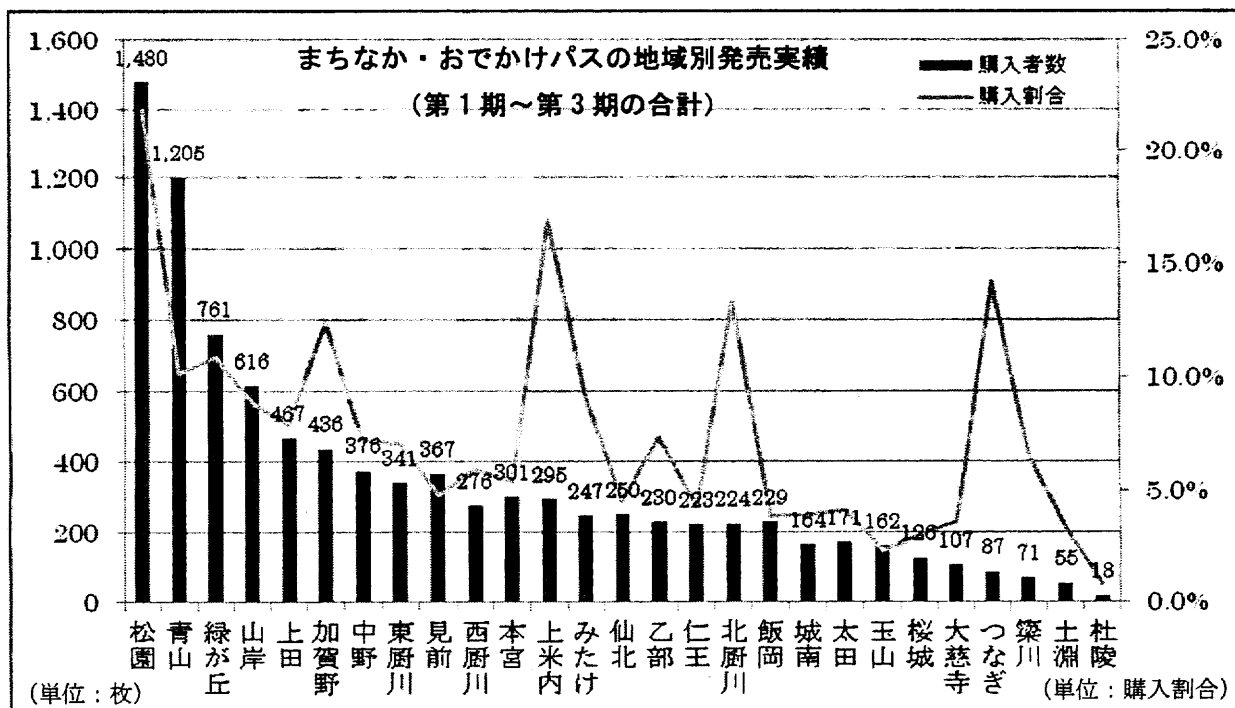
発売枚数は、期毎に増加しており第4期（1月末現在）は、第1期に比較して、1,049枚（40.5%増）売り上げが増えている。

また、継続購入が多く、第3期においては、87%となっている。



② 地域別の発売状況

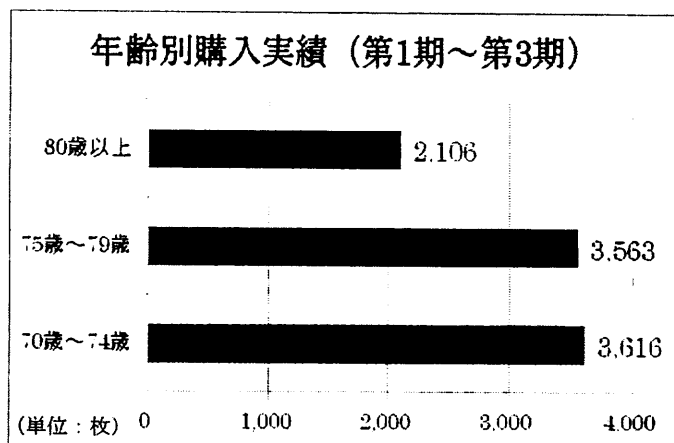
発売枚数は、松園地区、青山地区、緑ヶ丘地区で多くなっている。一方、70歳以上の人口に占める購入割合を見ると、松園地区に次いで、上米内地区、つなぎ地区、北厨川地区など比較的郊外部で高くなっているほか、加賀野地区においても高くなっている。



③ 年齢別の購入枚数

年齢別の購入枚数は、70歳から74歳が3,616枚、次いで、75歳から79歳が3,563枚と年齢が低くなるにつれて購入枚数が多くなっている。

一方、第3期における購入割合を年齢階層別に見ると、要支援2以上を除く割合では、全体で9.3%となっているが、普段バスを利用する人に対する割合では、約45%と推計される。

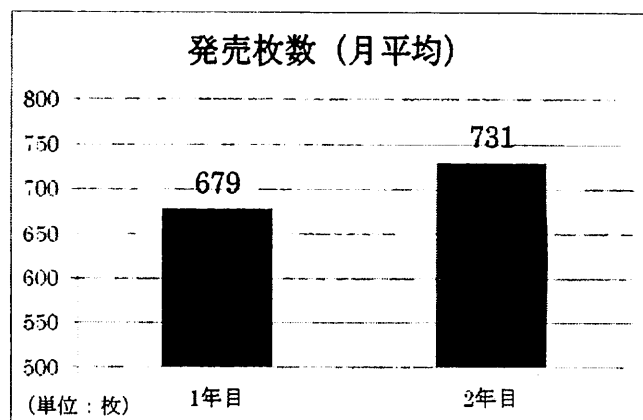


(2) 玉山区列車でおでかけきっぷ

① 発売実績

玉山区列車でおでかけきっぷの登録者数は、1年目（H22年6月から23年5月）は174人、2年目（H23年6月からH23年12月末現在）は172人となっている。

一方、おでかけきっぷの発売枚数は、平成22年6月から平成23年12月までの累計が13,362枚であり、月平均では1年目が679枚、2年目は731枚と増加している。



2 利用者の意見について

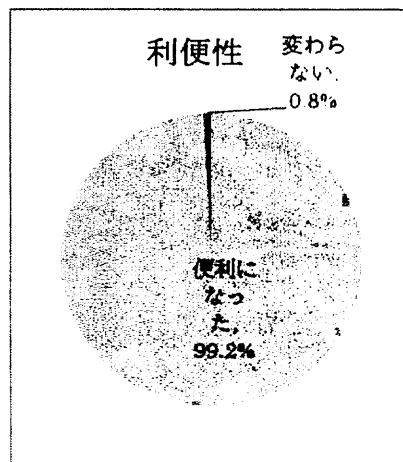
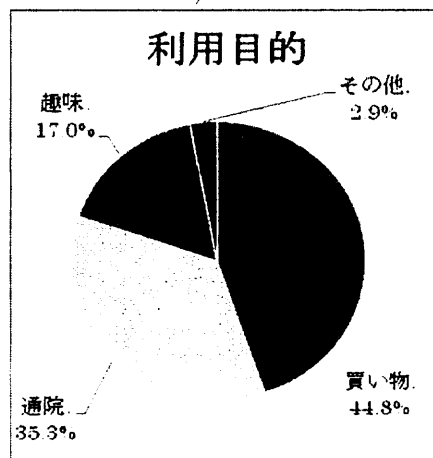
(1) まちなか・おでかけパス

① 利用者アンケート調査の結果

第2期及び第4期の購入者449人に対するアンケート調査結果は、次のとおりである。

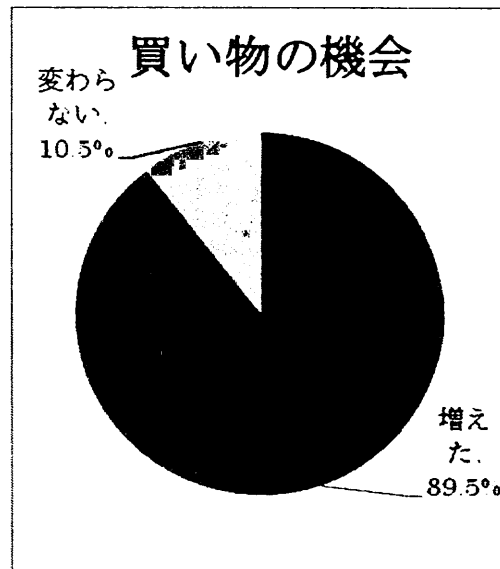
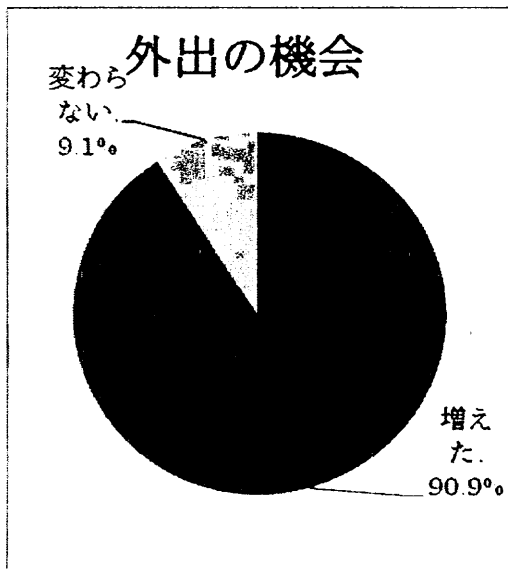
【設問】 利用目的と利便性について

利用目的は、「買い物」が約45%、次いで「通院」が約35%で、この2つで約8割を占めている。利便性については、約99%の人が、「便利になった」と答えている。



【設問】 外出・買い物の機会について】

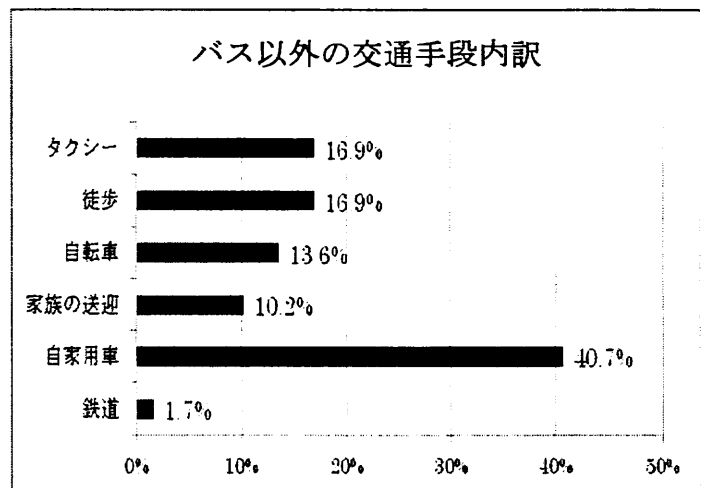
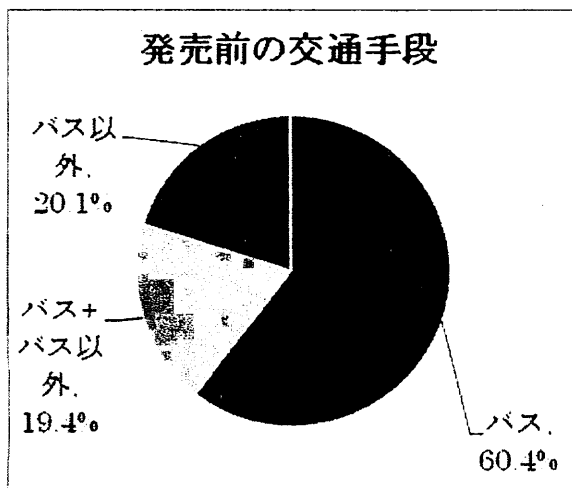
外出・買い物の機会については、どちらも約90%の方が「増えた」と答えている。



【設問】 おでかけパスを利用する前の交通手段について】

おでかけパス利用前の交通手段については、60%の人が従来からバスを利用していたと答えている一方、約20%の人は、バス以外と答えており、おでかけパスが発売されたことを契機としてバスを新規で利用するようになったと思われる。

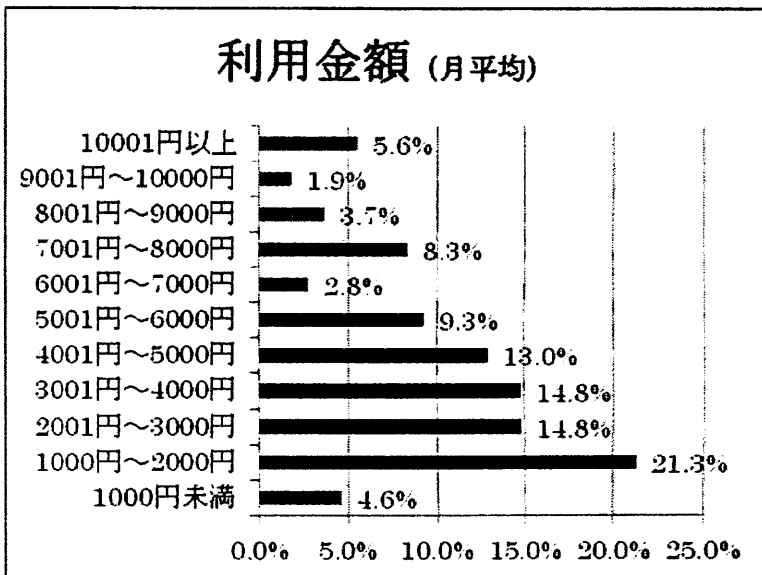
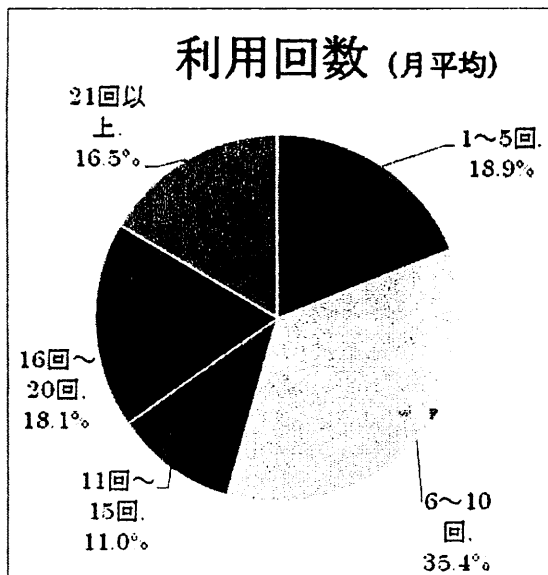
従前、バス以外の交通手段を利用していた方の内訳を見ると、自家用車が約41%、次いで、タクシー約17%、徒歩約17%となっている。



【設問】パスの利用回数と利用額】

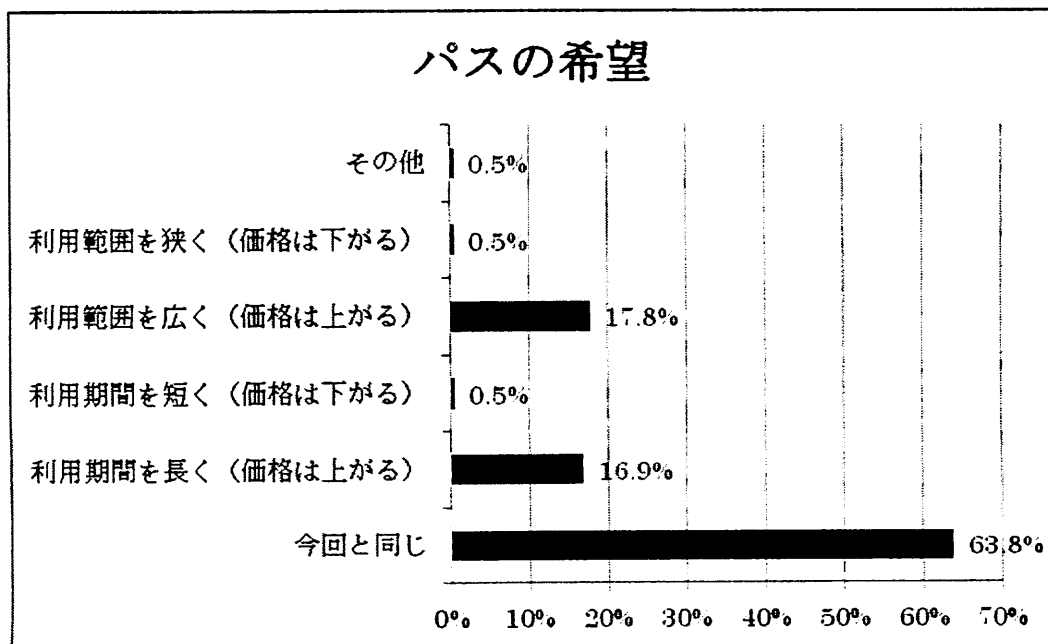
1ヶ月あたりのおでかけパスの利用頻度については、約8割の方が月に6回以上、約45%の方が月に11回以上利用していると答えており、全体の平均は14回となっている。

利用金額は、従来のバス運賃に換算すると、約95%の方が1ヶ月あたり1000円以上と回答しており、多くの人が、おでかけパスの購入額の月当りの費用、875円を大きく超えて利用している。



【設問】 今後はどのようなパスを希望するか？】

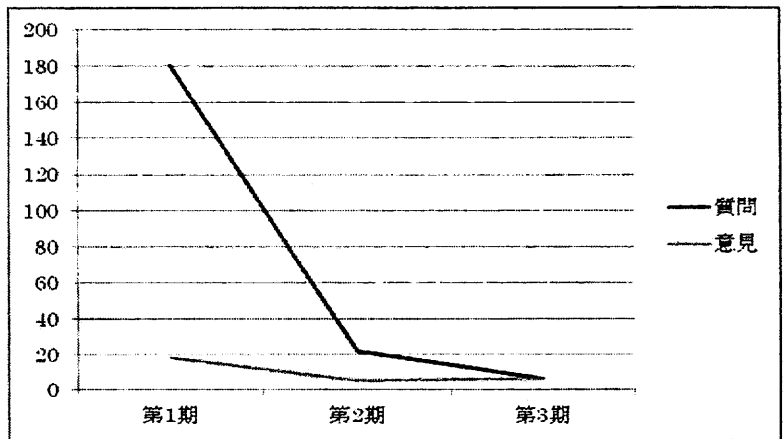
第2期の発売に合わせ、要望を聞いたところ、価格が上がっても利用範囲や利用期間の変更を望む声もあるが、63.8%の方が現状の内容を継続してほしいと答えている。



② 個別意見等

電話、窓口等での質問、意見等については、第1期発売に際して約200件寄せられたが、その多くは、購入方法、利用の仕方、利用できる範囲に対する質問であった。以降、問い合わせ件数は減少しており、事業内容が浸透してきていると思われる。

また、主な意見は、次のとおりである。



主な意見・要望
<ul style="list-style-type: none"> ・広報における利用方法、利用できるエリアの説明がわかりにくい。 ・居住地によって、恩恵を受ける額に差があるのは不公平ではないか。以前のように回数券を配布した方がよいのではないか。 ・対象年齢を引き下げてほしい。 ・自宅近くのバス停と中心市街地エリアの利用だけでなく、市内であれば、どこでも使えるようにしてほしい。 ・中心市街地エリアを拡大してほしい。(中央公民館、中央病院を加えてほしい) ・健康な高齢者には良い制度だが、足の悪い交通弱者には恩恵がない。 ・エリアを越えて利用する場合、境界のバス停からの初乗り運賃で支払う形となっているが、最初に乗車したバス停からの通しの運賃として、その差額を支払う制度として欲しい。

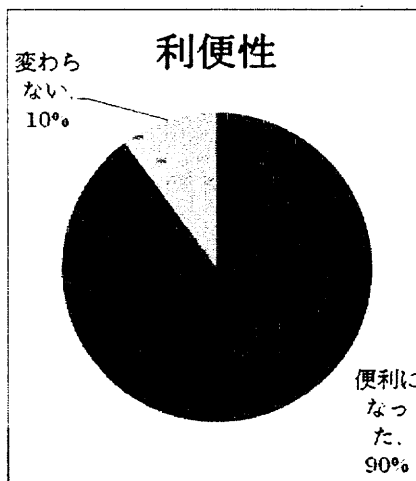
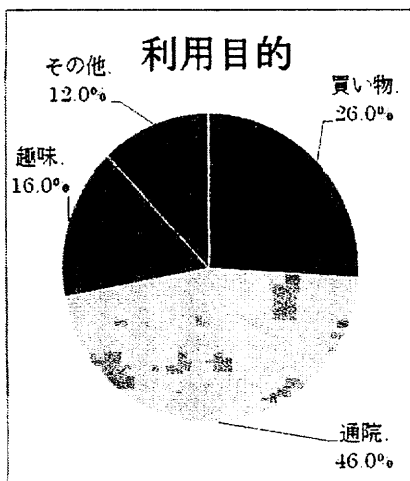
(2) 玉山区列車でおでかけきっぷ

① 利用者アンケート調査の結果

購入証の更新時に、33名に実施したアンケート調査の結果は、次のとおりである。

【設問】 利用目的とまちなかへの利便性について

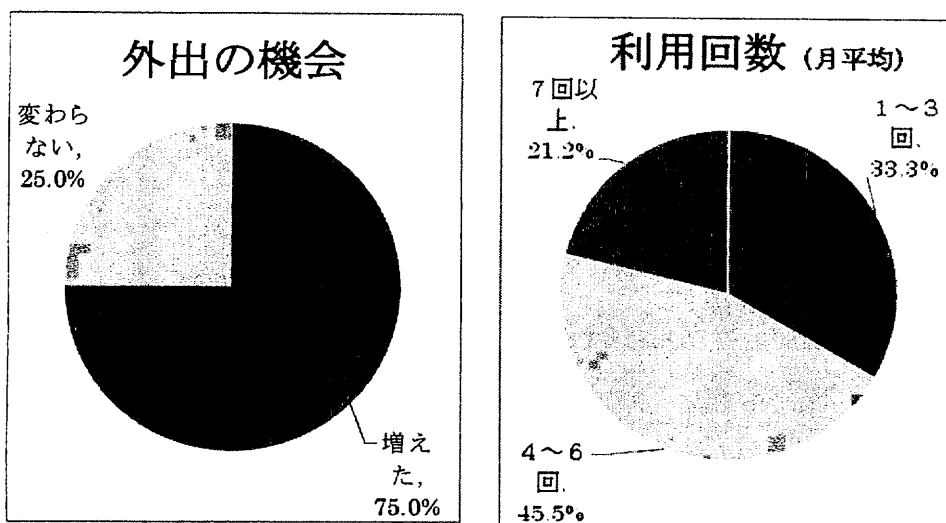
利用目的は約46%が「通院」と答えており、「買い物」が最も多かった、おでかけパスとは違った傾向となっている。また、9割の人が、「便利になった」と答えている。



【設問】 外出の機会および利用回数】

購入者の約 75%が外出機会が 増えたと答えている。

一方、利用頻度は、約 67%の人が、月 4 回以上となっている。



② 個別意見等

電話等で寄せられた主な個別意見は、次のとおりである。

主な意見・要望
・玉山区限定でなく、厨川駅、青山駅からもおでかけきっぷを使えるようにして欲しい。(みたけ、厨川、青山地区の市民はバスも利用するが、IGR を利用する人も多い。)

3 中心市街地の商店街の状況

(1) 商店街の意見

まちなか・おでかけパスの販売に協力していただいている、大通、肴町、材木町の各商店街団体事務局に対するヒアリングにおいては、3 団体共通で次の意見であった。

- ・ 高齢者の来街人数は、震災の影響もあり、目に見えて変わったという状況にはない。
- ・ しかしながら、事業自体は商店街の活性化に効果があると考えられることから、本格実施に移行してほしい。

(2) 本事業との関連した取組

おでかけパスにあわせた、商店街団体や百貨店の独自の取り組み状況は、次のとおりである。

大通、肴町、材木町の組合	・おでかけパスの販売
大通商店街協同組合	・商店街の 11 店舗において、パスを提示いただいたお客様に商品割引などの協賛サービスを提供
榑川徳	・来店時におでかけパスを提示いただくと、カワトクポイントを 10 ポイント進呈 ・ 7 階レストラン街の飲食店を利用の際に、おでかけパスを提示いただくと 10%の割引
肴町商店街振興組合	・盛岡河南情報紙「ザ・ホットライン」にまちなか・おでかけパス販売に係る情報を掲載

4 バス事業者、IGRのPR等の状況及び本格実施に対する意見について

(1) バス事業者

① PR等

- ・ 車内でのポスター掲示による周知
- ・ バス車内放送において、中心市街地エリアの範囲のバス停をお知らせ（県交通）

② 本格実施に対する意見

- ・ バス利用者が多い松園、青山地区では、売り上げが減少している状況にある。減少の原因は、様々な要素があり一概には言えないが、同地区ではまちなか・おでかけパスの利用者が多く、これまでのバス利用者がまちなか・おでかけパスに転換したことも、一因とも考えられる。
- ・ しかしながら、同事業は福祉施策的な要素もあり、本格実施を行うのであれば協力していきたい。
- ・ なお、実施にあたっては、試行実施と同じ内容でお願いしたい。（県交通）
- ・ 本格実施については協力する。なお、試行実施と同じ内容でお願いしたい。

（県北バス・JRバス東北）

(2) IGRいわて銀河鉄道

① PR等

- ・ 車内でのポスター掲示による周知

② 本格実施に対する意見

- ・ 利用状況も伸びているので、試行実施と同じ内容で本格実施をお願いしたい。

5 広報等の取り組み内容について

- ・ 広報もりおかでの周知 4回
- ・ 市政推進懇談会でのPR
- ・ 市社会福祉事業団施設長会議でのPR
- ・ 老人大学本校講座でのPR
- ・ 民生児童委員定例会長会及び役員会でのPR
- ・ まちづくり懇談会における市長からのPR（約30地区）
- ・ テレビ（テレビ岩手）・ラジオ（ラヂオもりおか、IBCラジオ）等でのPR 11回
- ・ 中心市街地エリア内の病院への案内チラシの掲示依頼（約170病院を2回）
- ・ 購入状況の鈍い地域への戸別案内チラシの回覧（1期：44町内会、2期：24町内会）
- ・ 玉山地区への戸別案内チラシの回覧（県交通玉山線沿線7町内会）

お買い物などに
とっても便利!

盛岡市にお住まいで、※満70歳以上の方対象バス

※購入申込時



まちなか おでかけバス

岩手県交通・岩手県北バス・JRバス東北【共通バス】



自宅近くの
バス停

途中乗り降り可能



中心市街地エリア

(盛岡市立病院へも利用できます)

〈詳しい案内図は裏面へ〉

エリア内
乗り降り
自由!

期間中最長 **6ヶ月間** バス乗り放題!!

例えばこんなに



お得!

例1 片道250円の場合

6ヶ月間 **週1回** おでかけすると

通常 約12,000円のところ↓

約6,750円分お得!

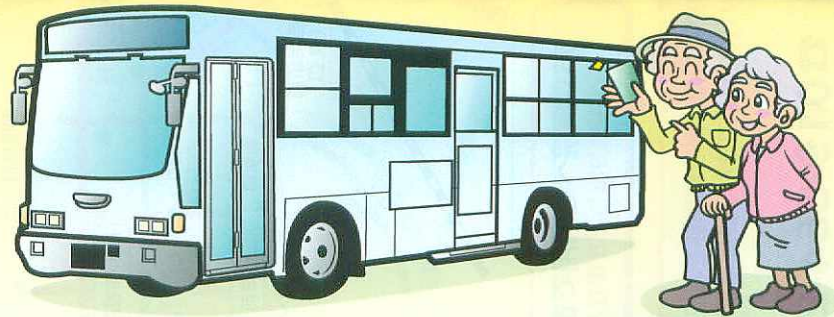
(片道100円)

例2 でんでんむしの場合

6ヶ月間 **週2回** おでかけすると

通常 約9,600円のところ↓

約4,350円分お得!



～乗務員からのお願い～

バス走行中の移動は危険です。停車してから席をお立ち願います。

発売・利用期間 第4期

平成23年

平成24年

発売期間

11/14(月)～4/27(金)

※平日のみ(年末年始除く)

平成23年

平成24年

ご利用期間

12/1(木)～5/31(木)

購入金額

5,250円

再発行及び払い戻しはいたしません。

右記発売窓口にて
お買い求めください

購入時にご用意していただくもの

- 購入申込書(発売窓口のほか市役所(各支所含む)、老人福祉センター等に備え付けてあります)
- 本人写真(タテ3.0cm×ヨコ2.4cm)
- 住所・氏名・生年月日が確認できる公的機関の発行した証明書(健康保険証・年金振込通知書等、後期高齢者医療被保険者証、運転免許証など)

購入の際はご本人がおいで下さい

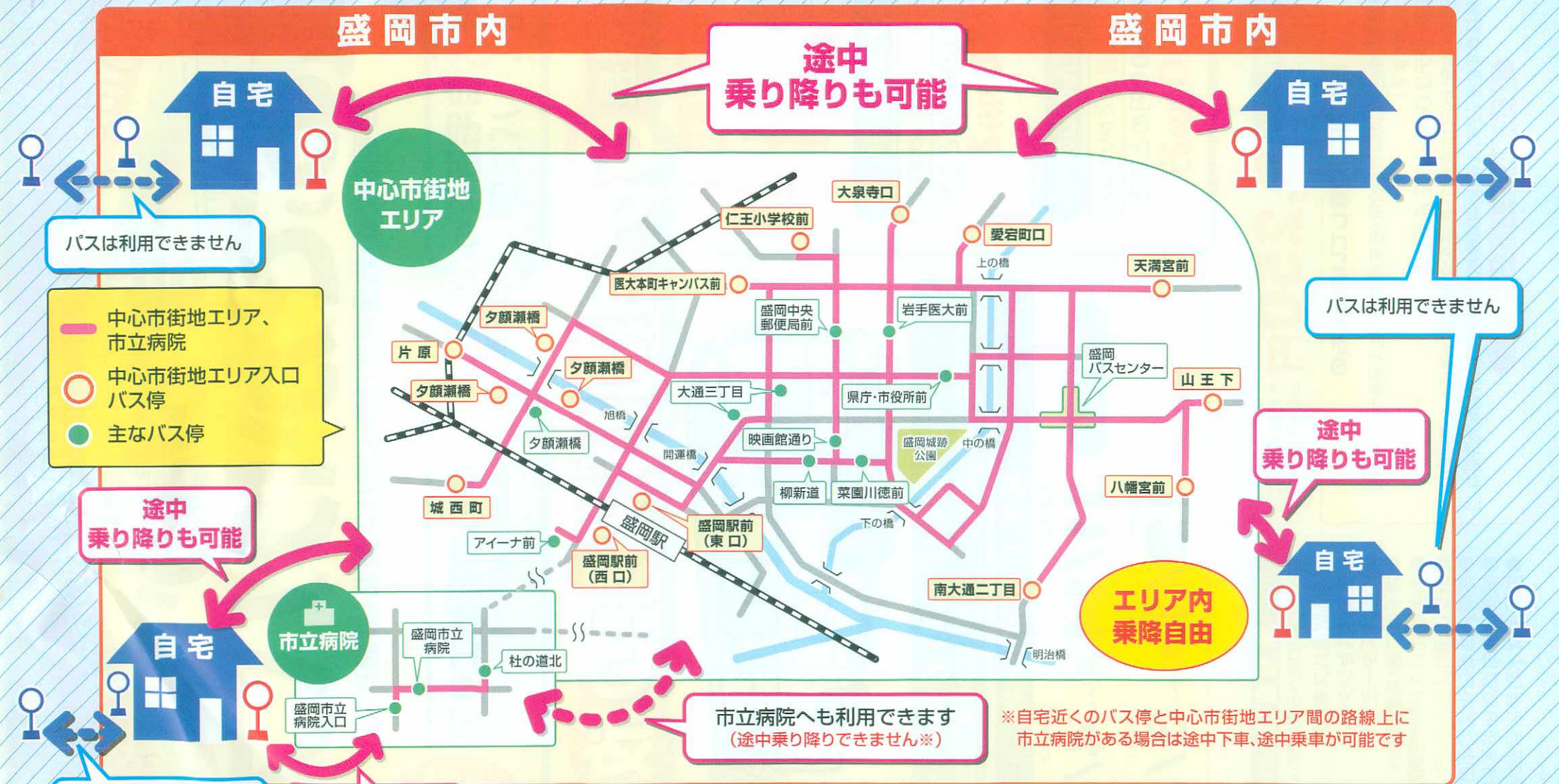
発売窓口 ※年末年始除く

平日の午前10時から午後3時まで発売しています。

- 盛岡駅前バス案内所
- 盛岡バスセンター
- 松園バスターミナル
- 岩手県交通(松園営業所・都南営業所)
- 岩手県北バス(盛岡営業所・盛岡南営業所)
- JRバス東北(盛岡駅JRバスきっぷうりば)
- 盛岡大通商店街協同組合
- 盛岡市肴町商店街振興組合
- 盛岡市材木町商店街振興組合

この事業は盛岡市の補助金を活用しています。

まちなか・おでかけパス 利用案内図



バスは利用できません

お問い合わせ先 (平日のみ 年末年始除く)

バスは利用できません

途中乗り降りも可能

注意事項

- 乗車の際は必ず整理券をお取りください。
- 深夜バス、高速バス、定期観光バス、臨時バス等のご利用できません。
- バスを利用できない区間は乗車地からの普通運賃をお支払いください。

●岩手県交通 ☎019-654-2141
●岩手県北バス ☎019-654-5814

●JRバス東北 ☎019-604-2211
●岩手県バス協会 ☎019-651-0680

盛岡駅までおでがる運賃! 玉山区にお住まいで、*満70歳以上の方限定きっぷ *購入申込時

玉山区列車でおでかけきっぷ



渋民・好摩駅から盛岡駅までを割引でご利用できる便利なきっぷです!



「列車でおでかけきっぷ」はこんなにオトク!

渋民～盛岡 500円 → **350円**
好摩～盛岡 630円 → **450円**



※約30%引き

列車でおでかけきっぷ「購入証」の発行について

「列車でおでかけきっぷ」を購入するには、窓口にて「購入証」の発行が必要です。*発行には、10分程度かかります。

平成23年 平成24年
購入証発行期間 **5/1(日)～4/27(金)**

☑ 購入証発行にご用意していただくもの

- 購入証発行申込書(購入証申込書は発売窓口ほか市役所玉山総合事務所等に備え付けてあります)
- 本人写真(タテ3.0cm×ヨコ2.4cm)
- 住所・氏名・生年月日が確認できる公的機関の発行した証明書(健康保険証・年金振込通知書等、後期高齢者医療被保険者証、運転免許証など)
- 発行手数料 **500円**

*現在購入証をお持ちの方も、再度購入証の発行が必要となります。平成23年5月1日以降、上記をご持参の上、更新手続きを行ってください。

購入証の有効期間 発行日から平成24年5月31日まで

「列車でおでかけきっぷ」について

1. 「列車でおでかけきっぷ」購入方法

渋民駅・好摩駅窓口にて**購入証を提示**してください。

2. 発売、及び利用期間

平成23年 平成24年
6/1(水)～5/31(木)

発売開始日以降、乗車予定日の1ヶ月前から購入できます。

※盛岡駅では購入できません。往復でご利用の際は、お帰りの分も同時に購入してください。

※「列車でおでかけきっぷ」は、乗車前の購入に限ります。乗車後の列車内、盛岡駅での精算は割引にはなりません。

発売窓口

- 渋民駅(7:00～17:00)
- 好摩駅(6:35～17:00)

※列車内やその他の駅ではお取扱いしておりませんのでご注意ください。

購入証の発行、きっぷの購入の際は、ご本人がおいでください。

お問い合わせ

※平日のみ

IGRいわて銀河鉄道(株) 運輸サービス部 ☎019-652-9802

この事業は盛岡市の補助金を活用しています。